

国民国家論と民衆史

国民国家論の提唱者西川長夫氏の没後一年。
その到達点と問題点を、第一線の研究者が討論する。

問題提起

今西 一 (大阪大学) 「国民国家論と民衆史の交差」

報告

アンドルー・ゴードン (ハーバード大学)

「災害が映す歴史 東日本大震災デジタルアーカイヴにみる東北史」

三谷 博 (東京大学)

「東アジア国際環境の激変とナショナリズム論」

長谷川 貴彦 (北海道大学)

「グローバル時代の歴史学を考える <世界史>と<主体>・再論」

コメント：安田常雄 (神奈川大学)

総括：安丸良夫 (一橋大学名誉教授)

司会：河西英通 (広島大学)

(使用言語：日本語)

2014年10月19日(日)

10:00~17:00 (9:30 開場)

立命館大学衣笠キャンパス内
創思館カンファレンスルーム

アクセス

JR・近鉄京都駅より市バス 50 番、205 番か JR バス高尾
京北線に乗り後、「立命館大学前」下車 (約 35 分)



問い合わせ

imanishi.hana.pin@gmail.com (事務局：森)



主催：科学研究費助成事業「帝国日本の移動と動員」(代表：今西一、大阪大学)

共催：立命館大学国際言語文化研究所

科学研究費助成事業「台湾先住民の『民族』自治」(代表：中村平、神戸女子大学)